

1 運営協議会の開催状況 ※ひとつづくりネットワークと共催ではなく単独で開催した学校運営協議会についても記載

回数	月日 (曜)	参加者数	議事内容 (テーマ・話題)	会の持ち方の工夫、成果・課題 等
第1回	6 / 4 (火)	14名	今年度の組織と活動計画について	運営協議会の組織や活動計画についての確認を行った。また、地域の各団体から、新たに子どもたちにできる活動などの提案もあった。
第2回	2 / 26 (水)	13名	今年度の取り組みの振り返りと次年度に向けて	小学校や公民館での一年間の活動を振り返ったり、協議会のメンバーからの意見等を聞いたりすることができた。また、次年度に向けての話し合いももつことができた。
第3回	/ ( )	名		

2 懇談会の開催状況

回数	月日 (曜)	参加者数 [主な所属 (内訳)]	議事内容 (テーマ・話題)	会の持ち方の工夫、成果・課題 等
第1回	11 / 29 (金)	20名 [地域の方10人、PTA5人、教員5人]	稲倉地区の学校・家庭・地域の協働活動の意義等についての意見交換	地域・家庭・学校を3つのグループに分け、小グループで話し合いを行った。目指す子ども像に向けてそれぞれの立場でできることを話し合い意見交流をすることができた。また、今年度すぐに取り入れられそうな活動について具体的に話し合った。
第2回	/ ( )	名 []		

3 めざす子ども像 (地域像、学校像、家庭像等)

- ふるさと稲倉の良さを知り、地域を愛する子
- 周りの人を大切にする子～まず、あいさつから～
- 自分の考えをもち、発信できる子

4 めざす子ども像の実現に向けた地域学校協働活動のアイデア

- 稲倉の歴史や自然の良さを体感できる活動を計画する。地域の史跡巡り・田植え・稲刈り・餅つき・しめ縄作り・とんどなどの実施を継続する。
- 学校だけでなく、家庭や地域でもあいさつ運動に取り組むことで、安心安全なまちづくりを目指す。
- 地域の行事に積極的に家族で参加し、自分の考えや思いを発言することのできる機会を仕組んでいくようにする。

5 地域学校協働活動の実施に係る主な連携及び支援団体

青少年を育てる会 (もちつき大会、しめ縄づくり、とんど祭り、地域史跡巡り)、まちづくり協議会 (環境保全ポスター、稲倉朝市、盆踊り)、社会福祉協議会 (七夕かざり、ひな人形メッセージ)、公民館 (運動会、球技大会、夏祭り、ウォーキング大会、文化祭)、地域資源保全協議会 (米作り、綿作り、史跡の環境整備)、Happy・happy (ハンドベル)、児玉商店 (地域巡り)、(株)アルナ社長 (Ancsプログラム)

◆めざす子ども像（地域像、学校像、家庭像等）

- ふるさと稲倉の良さを知り、地域を愛する子
- 周りの人を大切にする子～まず、あいさつから～
- 自分の考えをもち、発信できる子

◆活動の様子



5・6年生は稲倉地区の史跡巡りをした。7月に明見銅鐸出生地、10月には匠が城跡地、3学期に大星山に登り、地域の有識者の方に話を聞くことができた。

1・2年特別支援学級は野菜名人さん指導のもと野菜作りに挑戦しました。できた野菜でおでんパーティーをし、名人さんを招いてお礼の会を開きました



3・4年生は稲倉地域資源保全協議会のみなさんと休耕地の利用として綿の苗植えをしたり綿積みをしました。

1～4年生は稲倉地域資源保全協議会のみなさんと苗を手植えしたり、鎌で稲刈りをしたりして、楽しく米づくり体験をしました。

公民館で練習をされているハンドベル「ハッピーハッピー」の皆さんと一緒に希望者のみロング昼休みに公民館でハンドベルの練習を行った。その成果を7月には公民館で、11月の学芸会で地域や保護者全校児童に披露した。

◆めざす子ども像（地域像、学校像、家庭像等）

- ふるさと稲倉の良さを知り、地域を愛する子
- 周りの人を大切にする子～まず、あいさつから～
- 自分の考えをもち、発信できる子

◆活動の様子



野菜名人さんと1・2年生が、いもほり体験をしたり、1～4年生が焼き芋名人さんに教わりながら焼き芋づくりを体験し、ほくほくの焼き芋を食べさせていただいたりし、地域の方と親睦を深めた。

3・4年生は総合的な学習の時間に地域の休耕地の利用について話し合い、地域の方に提案したり、休耕地に建てる看板づくりに取り組んだりした。



5・6年生は公民館で月に1回開催される朝市を盛り上げるために手作りゲームの出店をし、朝市を盛り上げた。

1・2年生が地域の企業や商店に見学やインタビューに行き、地域の素敵をたくさん発見した。

3～6年生が、地域の習字名人に書初め展の習字の指導をしていただいた。字形に気を付けて書けるようになった。

5・6年生は公民館で毎週火曜日に開かれている赤羽根カフェで地域の方との交流したり、カフェ店員の体験をしたりし、地域の方と交流を深めた。

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 地域の方との交流をたくさん行うことができ、子どもたちも地域の方の名前を覚えたり、関わりも深まり、地域の良さを多く知ることができた。また、地域の行事には約9割の家庭が参加し、地域との良い関係を築けている。
- △もう少し深く内容を調べたり、地域の良さを発信したりすることが課題。
- ☆年間計画を見直し、活動内容にもっと深まりを持たせていくために計画的に活動を進められるようにする。

